▼5月25日（土）**「ギターマダガスカル」**
亀井岳氏の監督作品。故郷へ旅するギタリストを追い、生活に深く根ざしたマダガスカルの音楽文化を紹介します。劇場公開前作品の貴重な試写会です。
時間　13時～16時（開場12時30分）
以上映画会の開催場所　講堂（先着450名）
※申込不要、参加無料
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布
その他、ワークショップ、ミニレクチャー、みんぱくゼミナール、みんぱくウィークエンド・サロンを開催します。

企画展

「アリラン――The Soul of Korea」
韓国国立民俗博物館で2012年に開催された「アリラン展」が世界を巡回します。その最初の展示を大阪にある本館で開催します。
会期　5月2日（木）～6月11日（火）
会場　企画展示場B

「アマゾンの生き物文化」
サルや鳥などをペットにして飼い慣らすなど、地球最大の熱帯林を持つアマゾンと人とのかかわりを紹介します。
会期　5月23日（木）～8月13日（火）
会場　企画展示場A

「世界のニッポン、みんぱくのニッポン――夏～秋のみんぱくフォーラム2013」
新しくなった日本の文化展示「祭りと芸能」、「日々のくらし」を広く知っていただくため、約半年間、展示のテーマに関連した様々なイベントを開催します。
会期　6月15日（土）～11月23日（土・祝）

■関連イベント
◆体験プログラム
「瞽女（ごぜ）文化にさわる」
盲目の旅芸人である瞽女の歴史や役割について、秋山郷の復元民家内で実際に資料にさわり、瞽女唄を聴くことにより理解を深めます。
日時　5月25日（土）　13時30分～14時30分、15時～16時（受付13時から）
会場　日本の文化展示場秋山郷の復元民家内
※当日先着順、各回定員8名
参加無料（要展示観覧料）
※本プログラムは7月まで、毎月第4土曜日に開催します。

みんぱく映画会／みんぱくワールドシネマ
2013年度のワールドシネマは、「家族のゆくえ」に焦点をあてます。映画に描かれた姿をとおして、家族のありかたを考えましょう。

「私の中のあなた」
2009年、アメリカ映画。キャメロン・ディアス出演作品。白血病と遺伝子操作のあいだで葛藤する家族の物語。最新医療の発達が及ぼす問題について考えます。
日時　5月12日（日）　13時30分～16時30分（開場13時）
会場　講堂（先着450名）
※申込不要、参加無料
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布

公開フォーラム　JICA委託事業
国立民族学博物館　博物館学コース
「世界の博物館2013」
7か国、10名の博物館専門家が、博物館の活動や課題を報告しながら、互いに問題点を共有し、検討します。
日時　5月25日（土）　13時～17時15分
会場　第5セミナー室（70名）
※要申込、参加無料
申込締切　5月17日必着（先着順）
お問い合わせ先
国立民族学博物館 国際協力係 博物館学コース事務局
電話　06・6878・8250

●みんぱくミュージアムパートナーズ（MMP）新規メンバー募集
9月から活動する新しい仲間を募集中です。
応募期間　5月10日（金）まで（50名程度）
お問い合わせ先
みんぱくミュージアムパートナーズ事務局
新規募集係（国立民族学博物館　社会連携室内）
E-mail　mmp-jimukyoku@dc.minpaku.ac.jp
FAX　06・6878・8256

●無料観覧日のお知らせ
5月5日（日・祝）のこどもの日は、特別展、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。
※各イベントについてくわしくはホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17時（土日祝を除く）です。

刊行物紹介

■樫永真佐夫 著
『黒タイ歌謡〈ソン・チュー・ソン・サオ〉――村のくらしと恋』
雄山閣　定価：6,720円

ベトナムに居住する少数民族、黒タイに伝わる恋の歌『ソン・チュー・ソン・サオ』。悲しくも美しいこの歌の翻訳と解説を通じて、歌に盛り込まれている黒タイの文化や生活を詳しく紹介する。

■丹羽典生・石森大知 編
『現代オセアニアの〈紛争〉――脱植民地期以降のフィールドから』
昭和堂　定価：3,150円

「楽園」のイメージが強いオセアニアの〈紛争〉はあまり知られていない。本書では2000年代以降にフィールドでの調査を行ってきた筆者たちが、各自の知見に基づき現代オセアニアの負の側面を描く。

特別展
「マダガスカル 霧の森のくらし」

会期　6月11日（火）まで
会場　特別展示館1階

■関連イベント
◆みんぱく映画会
「文化とはなにか――マダガスカルの生活文化、マダガスカルの音楽文化」
▼5月11日（土）**「ザフィマニリスタイルのゆくえ」**
本館の川瀬慈助教の監督作品。ザフィマニリのくらしが変化するなか、無形文化遺産のものづくりがどうなるかを考えます。
時間　13時～15時（開場12時30分）

みんぱくゼミナール

会場　国立民族学博物館 講堂
時間　13時30分～15時（13時開場）
定員　450名（当日先着順）
参加費　無料（展示をご覧になる方は、観覧料が必要です）

第420回　5月18日（土）
【特別展関連】
マダガスカル 霧の森にくらす人びと
講師　内堀基光（放送大学 教授）
聞き手　飯田卓（国立民族学博物館 准教授）
日本のマスメディアからは「秘境」と呼ばれるマダガスカルの森。そこにくらすザフィマニリの人たちは、山々によって外の世界からきり離され、自然のリズムにあわせて生活をいとなんできたようにみえます。でも、彼らの知識がユネスコ無形文化遺産に指定されていることからわかるように、静けさはくらしの一面にしかすぎません。未来をみすえつつ、霧の森の現在をお話しします。

死者を記念する碑

第421回　6月15日（土）
【新 日本の文化展示関連】
日本の漁業を考える
講師　日髙真吾（国立民族学博物館 准教授）
川島秀一（東北大学 教授）
日本の文化展示場は、このたび新しく生まれ変わりました。このなかで、「日々のくらし」では、里、海、山で営まれるくらしや生業を展示しています。このゼミナールでは、漁業について考えたいと思います。

網の補修

友の会

国立民族学博物館友の会　電話 06-6877-8893（平日9時～17時）　FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　　e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会（大阪）
会場　国立民族学博物館 第5セミナー室
定員　96名（当日先着順、会員証提示）

第420回　6月1日（土）　14時～15時
金曜日はムジャッダラの日――アラビア語圏キリスト教徒のくらし
講師　菅瀬晶子（国立民族学博物館 助教）
『季刊民族学』143号でご紹介したシャーム地方の家庭料理、ムジャッダラを味わいながら、金曜日に菜食を実践する彼らのくらしやアイデンティティについて、お話しします。食文化がもつ、国境や宗教をこえる力や可能性についても考えてみましょう。

第421回　7月6日（土）　14時～15時
新 日本の文化展示関連
罠猟のイノベーション――動物との根比べ
講師　野林厚志（国立民族学博物館 教授）

東京講演会
会場　モンベル渋谷店 5Fサロン
定員　70名（要申込）※今回は一般の方も参加可能です。

第106回　6月30日（日）　14時～15時30分
トゥバ人たちの住むところ――21世紀の「探検」談
講師　小長谷有紀（国立民族学博物館 教授）
昨年、ロシア、中国、モンゴルにまたがってくらすトゥバ人を取材しました。国境を接しているにも関わらず、手続き上、毎回、北京に戻ってからそれぞれの地域に行かなくてはなりません。24日間、数千キロにもおよんだ取材道中では、でこぼこ道を馬の背にゆられ、通りがかりの若者にテントと車を交換してもらって助けられるなど、さまざまな出来事と出会いがありました。日本ではまだあまり知られていないトゥバ人のくらしをご紹介するとともに、ユーラシア内奥部にも確実に押しよせる現代世界の波についてもお話しします。

第82回民族学研修の旅
マダガスカルの森と海を訪ねる――サザンクロス街道をゆく
7月9日（火）～20日（土）　12日間
特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」の舞台となったザフィマニリの村を訪ねます。詳細は上記友の会まで。

国立民族学博物館ミュージアム・ショップ

電話　06-6876-3112
FAX　06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

共同研究の成果から生まれた特別展関連書籍『世界の織機と織物』

2012年秋に開催された特別展「世界の織機と織物――織って！みて！織りのカラクリ大発見」の関連書籍が刊行されました。
本篇・資料編の2部で構成される本書は、総ページ数が396ページの大ボリューム。
わたしたちの生活に必要不可欠な織物と、それを織るためにつくられた織機。本篇では、織物を織るためのさまざまなカラクリの詳細や織りの歴史が、図面や写真とともに解説されています。
資料篇は、特別展にて展示された織機全157点が、解説図とともに紹介されています。
織物とはなにか、織機とはなにか、さらに織るということはいかなることか。単純にして複雑な織りのカラクリの世界を大発見してください。

『世界の織機と織物』4,455円（税込）
編著：吉本 忍　作図：柳 悦州
編集発行：国立民族学博物館
判型：A5変形判（本篇2色、資料篇1色）
総ページ数：396ページ